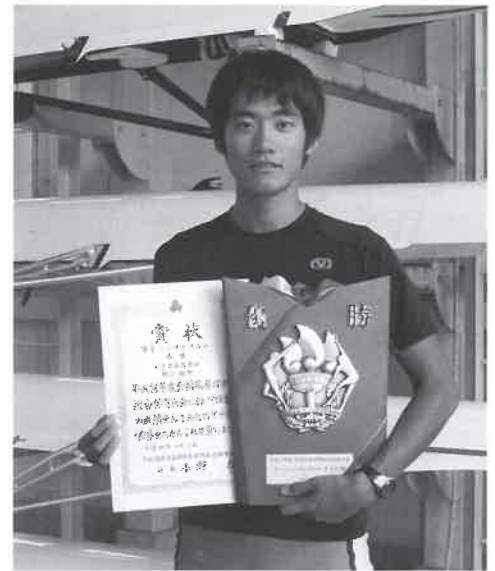
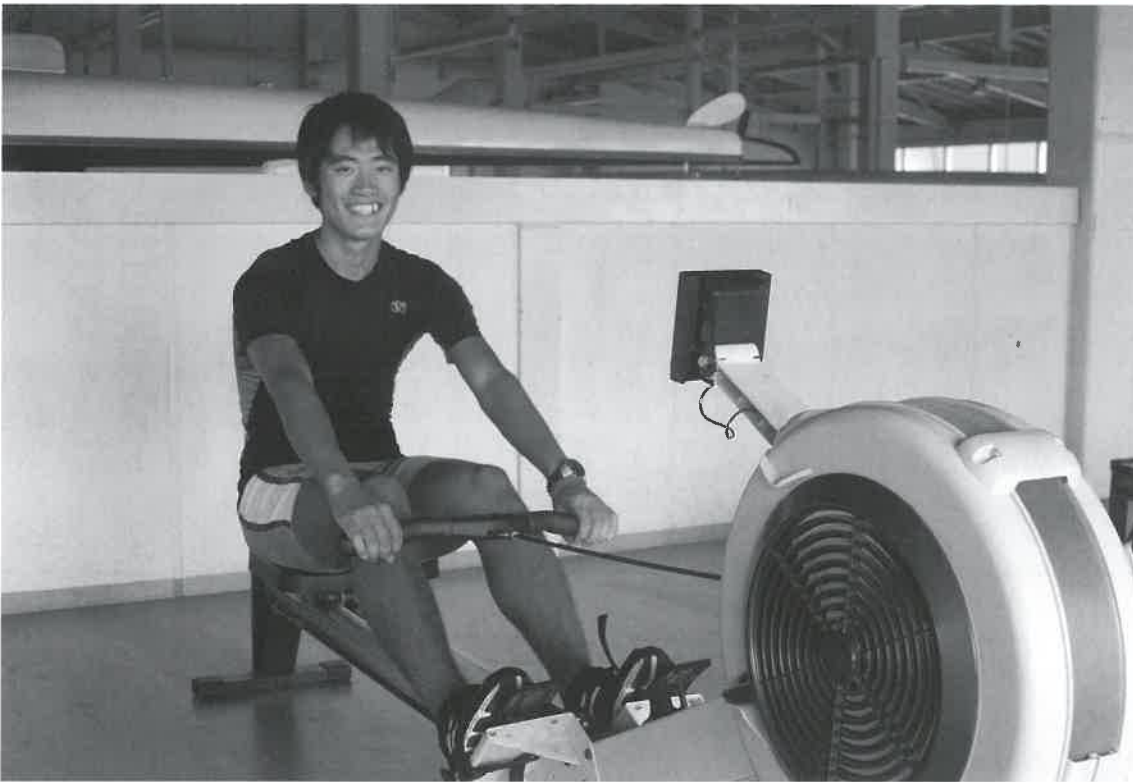


野口皓平さん (米子東高3年)

インターハイ優勝

おめでと〜いございます



8月3日(日)、山梨県河口湖漕艇場で行われたインターハイ(平成26年度全国高等学校総合体育大会)のボート男子シングルスカル決勝で、米子東高校3年の野口皓平さん(下木料)が、2位に0秒17差の3分36秒82でゴールし、見事優勝を果たしました。

優勝の栄冠を手にした野口さんに、感想や喜びの声を聞きました。

■優勝おめでとうございます。まずはボート部に入部したきっかけを教えてください。

(野口) 中学時代はバスケット部でした。名和中の同級生がひと足先に入部していて誘われたことと、入部体験でボートを漕いだときに、風を切る感じが気持ちいいなと思ったのが決め手でした。

■インターハイはどうでしたか？

(野口) 実は、現地入りした日に熱が出て、練習も万全ではなかったです。

全国的に有名な選手もたくさんいたし、みんな体が大きくて、自分ではできるのかなと少し不安でした。決勝のときは「これで最後だから、強い気持ちでいこう」と思いました。

■ライバルはいますか？

(野口) 同学年でもある、米子工高の古田直輝選手。ジュニア世界選手権に出場するなど実績も素晴らしい選手なので、彼から学ぶところはとても大きいです。

■ボート競技の魅力は何ですか？

(野口) 練習した分だけ、うまくなるところです。ボートは誰でもできる競技で、運動経験のない人も大丈夫です。

■今後の目標は？

(野口) 10月に長崎で開催される国体は、2人乗りのダブルスカルに出場するので、がんばりたいです。今は国体のレースのことだけ考えています。

【米子東高ボート部顧問・寺井一正先生の話】

野口君はまじめで、コツコツ努力するタイプ。目標を立てて練習しています。今後さらに強く、速い選手になると思います。10月の国体では、同じ大山町の林原悠さん(下前谷)も女子のダブルスカルに出場します。林原さんも優勝目指してがんばっているの、こちらも応援よろしくお願いします。

■練習中の野口さんにインタビューさせていただきました。国体での活躍を期待しています。